

# フライングディスク実施要領（案）

## 1 競技規則

競技規則は、令和6年度全国障害者スポーツ大会競技規則（令和6年4月1日より実施分）によるもののほか、この要領に定めるところによる。

## 2 競技方法

- (1) 種目は、アキュラシーとディスタンスとし、すべて競技役員（審判員）の指示にて進行すること。
- (2) アキュラシー（ディスリートファイブ、ディスリートセブン）
  - ア プレーヤーは、10投連続して試技するものとする。
  - イ スローイングの方法は、どの投げ方でも認められる。
  - ウ 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とする。  
5分を超えた試技は、無効とする。
- (3) ディスタンス（立位、座位）
  - ア プレーヤーは、1投の練習（テストスロー）の後、連続して3投試技するものとする。
  - イ スローイングの方法は、どの投げ方でも認められる。
  - ウ 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。  
3分を超えた試技は、無効とする。
  - エ 記録は、3投中最も距離の遠い着地点を計測する。
- (4) 競技上有利となる用具の使用は認めない。

## 3 受付

会場に到着したら、受付テントで受付を行う。市町村、施設、学校については、引率者がまとめて受付を行う。

ディスタンス競技の出場選手は、アキュラシー競技の受付時間に受付してもよい。

## 4 招集

- (1) 招集開始時刻は、原則としてその組の競技開始20分前とする。
- (2) 選手は、競技開始10分前までに選手招集所に集合し、番号布等により競技役員の子呼を受けること。
- (3) 招集に遅れた選手は棄権したものとみなす。

## 5 用具

競技に使用する公式ディスクについては、主催者で用意する。

## 6 番号布

番号布は、主催者が交付したものを使用し、胸部と背部にしっかりとつけること。

## 7 表彰

各組終了後、1位から3位までを表彰する。